

1 学年 社会科 ガイダンスシラバス

担当：坂田 翔（地理的分野） 竹内 賢斗（歴史的分野）

1. 社会科を学ぶねらい

日常生活の「なぜ」を大切に、社会のことを学んでいきます。現代社会は、グローバル化・情報化がさらに加速し、変化の激しい社会となっています。このような社会において、社会とどのように関わるか、よりよい人生を送ることができるかを考える必要があります。また、日本や世界の歴史、文化を尊重し、多様性、人権について学ぶことが大切です。

社会的事象に対して、見方・考え方を働かせ、課題を解決する学習を通して、主体的によりよい社会を形成していく力を身に付けていきます。

2. 学習方法

- ・小学校で学習した内容を復習する。
- ・予習は、次の授業で学習する教科書のページを読み、大まかな流れを理解する。
- ・授業中は「なぜ」「どうして」を大切に自分で考えたり、説明を聞いたりして、「分かった」と思えることを増やしましょう。
- ・授業中は、質問に対して積極的に考え、積極的に発表しましょう。
- ・復習は、授業のノートや振り返りシート、ワーク等を活用しましょう。
- ・ワークを進める時は、自分の力で解いてみて、間違えたものをくり返し練習したり、先生に質問したりしましょう。

3. 持ち物について

地理 ・教科書 ・ファイル(地理用) ・資料集 ・地図帳 ・問題集
歴史 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・タブレット

4. 学習の評価と方法

①知識・技能

- ・各分野の基礎的な内容を理解しているか
- ・様々な知識を、整理して理解しているか
- ・統計資料、グラフ、図表等を読み取る力があるか
- ・書籍やインターネットを活用して、課題の解決策を調べることができるか

評価方法

- ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
- ・授業内発言など

②思考・判断・表現

- ・社会的な事象に対して多面的、多角的に考察し、それをまとめることができるか
- ・課題に対して社会的な見方、考え方を働かせて追究しているか
- ・課題の解決に向けて思考・判断し、それらをまとめたり、説明したりできるか

評価方法

- ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
- ・授業内の話し合いの様子など

③主体的に学習に取り組む態度

- ・しっかりと説明を聞き、ノートやワークシートにまとめようとしているか
- ・提出物(授業で出された課題など)を期限内に提出しているか
- ・社会の出来事に関心をもち、追究しようとしているか

評価方法

- ・定期テスト ・ノート、ワークシート、振り返りシート等の提出物点検
- ・授業や話し合いへの参画度など

5 年間学習計画

地理的分野

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	第1部 世界と日本の地域構成 1章 世界の姿 2章 日本の姿 第2部 世界の様々な地域 1章 人々の生活と環境 2章 世界の諸地域 1節 アジア州	- 世界の地域構成（緯度や経度、大陸と海洋の分布など）を理解するとともに、日本の地域構成（国土の位置、時差、領域）を理解する。 - 世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する。（衣食住・生活と宗教の関わり） - 各州の地域的な課題の要因や影響を考察し、表現する。	授業態度 定期テスト 提出物 単元シート その他課題など
	9 10 11 12	2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州		
3	1 2 3	5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州	- 世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する。（衣食住・生活と宗教の関わり） - 各州の地域的な課題の要因や影響を考察し、表現する。	授業態度 定期テスト 提出物 単元シート その他課題など

歴史的分野

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	第1章 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教の起こり	- 年代の表し方や時代区分の意味や意義について理解する。 - 時代の流れや特色の見方、考え方について理解する。	授業態度 定期テスト 提出物 その他課題など
	9 10 11 12	2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界		
3	1 2 3	第3章 中世までの日本 1節 武士の政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	鎌倉時代から室町時代までの歴史の流れ、特徴を政治、文化の面から理解し、その特色をまとめる。	授業態度 定期テスト 提出物 その他課題など

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。

第2学年 社会科 ガイダンスシラバス

担当：坂田 翔

1. 社会科を学ぶねらい

地理・・・多様な自然環境と人々の生活を知り、地域的な違いや類似点を見つけていく中で、各地域の課題解決に向けて、多面的・多角的に考察する活動を行います。その活動を通して、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究・解決しようとする力を身につけます。

歴史・・・歴史的事象に対して、見方・考え方を働かせて、原因や背景などを考察したり、現代社会とのつながりを捉えたりする活動を行います。その中で、日本の伝統や文化の特色を理解し、尊重するとともに主体的に社会を形成する公民としての力を身に付けていきます。

2. 学習方法

- ・事前に次の授業で学習する教科書のページを読み、大まかな流れを理解する。
- ・授業中はしっかり説明を聞き、質問に対して積極的に考え、発表する。
- ・復習は授業のプリントや教科書を見て、ワーク等の問題に取り組み、確認する。
- ・ワークを進める時は、答えの丸写しをせずに自力で行い、間違えたものはくり返し練習するようにするとよい。

3. 持ち物について

地理	・教科書	・A4 ファイル（地理用）	・地図帳	・資料集
歴史	・教科書	・A4 ファイル（歴史用）	・資料集	

4. 学習の評価と方法

①知識・技能

- ・各分野の基礎的な内容を理解しているか
- ・様々な知識を、整理して理解しているか
- ・統計資料、グラフ、図表等を読み取る力があるか
- ・書籍やインターネットを活用して、課題の解決策を調べることができるか

評価方法 ・定期テスト ・小テスト ・単元シート等の提出物の内容 など

②思考・判断・表現

- ・社会的な事象に対して多面的、多角的に考察しているか
- ・課題に対して社会的な見方、考え方を働かせて追究しているか
- ・課題の解決に向けて思考・判断し、それらをまとめたり、説明したりできるか

評価方法 ・定期テスト ・小テスト ・単元シート等の提出物の内容 など

③主体的に学習に取り組む態度

- ・しっかりと説明を聞き、ノートやワークシートにまとめようとしているか
- ・提出物(授業で出された課題など)を期限内に提出しているか
- ・社会の出来事に関心をもち、追究しようとしているか

評価方法 ・定期テスト・ファイル、振り返りシート等の提出物点検及びその内容など

5. 年間学習計画

地理

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	1章身近な地域の調査 2章日本の地域的特色 3章日本の諸地域 九州 中国・四国	世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を自然環境、人口、資源、エネルギーと産業、地域間の結びつきから大観する	- 定期テスト - 提出物：ファイル提出 - 単元シート - その他の課題 など
	9 10	近畿 中部 関東 東北 北海道	- 日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、地域的特色をとらえる - 日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、地域的特色をとらえる	- 授業態度 - 定期テスト - 提出物：ファイル提出 - 単元シート - その他の課題 など

歴史

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
2	11 12	4章 近世の日本	キリスト教・鉄砲の伝来までの世界の動きや安土桃山時代～江戸時代までの歴史の流れや特色を理解する 安土桃山時代の歴史の流れや特色、江戸幕府の成立と支配の仕組みを理解する	- 定期テスト - 提出物：ファイル提出 - 単元シート - その他の課題 など
	1 2 3	4章 近世の日本つづき 5章 開国と日本のあゆみ	明治維新による変化、立憲制の国家の成立の始まりなどを理解する 欧米諸国のアジア進出、明治維新による変化、立憲制の国家の成立の始まりなどを理解する	- 定期テスト - 提出物：ファイル提出 - 単元シート - その他の課題 など

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。

3 学年 社会科 ガイダンスシラバス

担当：竹内 賢斗

1. 社会科を学ぶねらい

- ① 社会的事象について関心をもち、主体的に社会に関わり、その発展に参画しようとすることができる。
- ② 社会的事象の意味や意義、特色を現代の生活に関連付けて、多面的・多角的に考察することができる。
- ③ 諸資料から、現代の社会的事象に関する情報を読み取り、まとめることができる。

2. 学習方法

- ・ 毎時間の予習のために教科書を読む。
- ・ 授業中はしっかり説明を聞き、ノートやプリントに記入する。
- ・ 授業中は、質問に対して積極的に考え、積極的に発表する。
- ・ 復習は、その日授業でまとめたノート、プリントや教科書、資料集を読み返す。
- ・ 問題集を進める時は、答えの丸写しをせずに自力で行い、間違えたものはくり返し練習すること(身に付いているが重要)。
- ・ 日々、時事に関心をもち、自分の考えをもつようにする。

3. 持ち物について

歴史 ・教科書 ・ノート ・資料集 (ワーク・問題集)
公民 ・教科書 ・ノート ・資料集 (問題集)

※どちらもタブレットが必須のため、机の中に入れておくこと。

4. 学習の評価と方法

① 知識・技能

- ・ 各分野の基礎的な内容を理解しているか。
- ・ 様々な知識を、整理して理解しているか。
- ・ 統計資料、グラフ、図表等を読み取る力があるか。
- ・ 書籍やインターネットを活用して、課題の解決策を調べることができるか。

評価方法 ・ 定期テスト、小テスト ・ レポート ・ 提出物の内容 ・ 授業内の発言など

② 思考・判断・表現

- ・ 社会的な事象に対して多面的、多角的に考察しているか。
- ・ 課題に対して社会的な見方、考え方を働かせて追究しているか。
- ・ 課題の解決に向けて思考・判断し、それらをまとめたり、説明したりできるか。

評価方法 ・ 定期テスト、小テスト ・ レポート ・ 提出物の内容 ・ 話し合いの内容など

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・ しっかりと説明を聞き、ワークシートにまとめようとしているか
- ・ 提出物(授業で出された課題など)を期限内に提出しているか
- ・ 社会の出来事に関心をもち、追究しようとしているか
- ・ グループ活動において協働しようとしているか。

評価方法 ・ 定期テスト、小テスト ・ 提出物の内容 ・ 授業の取組など

5 年間学習計画

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 4節 日清日露戦争と近代産業	歴史 19世紀頃～20世紀前半までの歴史では、日本の近代の特色を世界の動きに関連に着目しとらえる。 第二次世界大戦～冷戦終結ごろまでの歴史では、日本の現代の特色を世界の動きとの関連に着目しとらえる。 公民 現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解する。現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を身につける。 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての意義を、多面的・多角的に考察し、表現する。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
	5	第6章 二度の世界大戦 1節 第一次大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代		
	6	3節 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本		
	7	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展 3節 新たな時代の日本と世界 公民 第1章 現代社会と私たち 第2章 個人の尊重と日本国憲法		
2	9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 続き	個人、企業、国や地方公共団体の経済活動を通し、経済活動のさまざまな課題に着目し、自ら考えようとする態度を身につける。 民主主義の基礎となる考え方や国や地方公共団体のしくみを通し、民主主義に関する理解を深める。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
	10	第4章 わたしたちの暮らしと経済 第3章 現代の民主政治と社会		
	11	第3章 現代の民主政治と社会		
	12			
3	1	第3章 現代の民主政治と社会 続き	国際社会に対する理解を深め、国際社会における日本の役割について考える。よりよい社会を築いていくために解決しなければならない課題を追究し、自分の考えをまとめられるようになる。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 その他の課題 など
	2	5章 地球社会と私たち		
	3			

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。